

## 私たちが歩むべき方向について

東方からの賢者・ワイズマンです。

まず「経済とは循環」です。

お金を介して商品を提供することです。

それ以上でもそれ以下でもありません。

そして、大企業を除く多くのビジネスはその循環を日本国の中でしか行っていないのです。

実は世界的に見て、これが成立するのは珍しく奇跡的なことなのです。

だから、ほとんどの方は日本語しか話せませんよね。

英語をネイティブなみに話せるのは大企業の社員くらいです。

それは彼らにとって英語は必要だから、そしてそれ以外の国民にとって英語は必要ないから話せないのです。

### しかし、状況が変わりました。

それは、ここではじめて変わったわけではなく、バブル経済が弾けた時から、この方向へ僕たちの市場は動いていたのです。

それが今、一番多い世代である「団塊の世代」と

呼ばれる人たちがここ1～2年で一斉にいなくなるのです。

これはイコール直接税である所得税収入が  
一気になくなることを意味します。

国は税金で運営しています。

その税収の多くの収入が見込めない。

消費税増税とはその補填です。

だから税と福祉の一体化政策なのです。

これは前の政権である民主党の野田政権で  
自公3党の合意で決まりました。

そして、政権交代し、今のアベノミクスとTPPです。

これは消費税増税と同じ延長線上にあるのです。

ひとことでいいます。

## 「日本国内における経済の限界です」

経済は循環であるといいました。

その循環は今まで国内という限られた商圈にて循環出来ていました。

その循環は2年後以降、確実に日本の外に出て行きます。

イヤ、出て行かざるを得ないのです。

例えば、隣国の韓国ですサムスン電子など急成長しているように  
見えますが、それは一部の大企業のみです。  
韓国の場合、日本よりも中小企業の層が薄いため、  
ほとんどの学生は日本以上に未就職です。

これは中国も一緒です。

実は一番、生ぬるい国がこの日本なのです。

しかし、2年後以降、消費税が10%になり状況は一変します。

## **確実に市場は外へ、海外へ向かうのです。**

TPP というどうしても米などの農産物や保険、医療などの米国からの輸入により国内産業が衰退するのではないか？

議論のほとんどは「輸入」にたいしてです。

これは鎖国以来日本が関税による国内市場の保護を頑なにやってきた理由です。

しかし、実経済は逆へ向かっています。

今、海外を市場にしていない企業は中小企業のみです。

TPP とはイコール国内市場の限界を自覚し、海外へ向けてビジネスを行え！

ということなのです。

そう、中小零細、そして個人の私たちに対してです。

## **輸出するのは「日本人」というブランドです。**

実は私はもう20年以上前、3年ほど海外で生活していました。

カナダという国のトロントという都市です。

当時は香港が英国から中国へ返還される年でした。

多くの中国人がカナダ(=英国領)へ移民として大量に流れてきました。

そして、トロントのど真ん中に巨大なチャイナタウンを形成していました。

これは中国人に限らずです。

私たち日本人も日本というコミュニティを形成し  
生活の糧として「日本」を売っていたのです。

海外へ移民する。

そう、一番売れる商品は、私たちの場合は  
「日本人」とあるという「日本」です。

「寿司レストラン」であったり「ラーメン屋」であったり、  
中国人が飲茶を売ると同じです。

だから、海外市場においては日本国民であることが  
前提条件となり、それが唯一の商品になるということです。

だからといって、海外でラーメン屋を開けと言っているにはありません。

## **「日本人というコンテンツ」を売れ！**

と言っているのです。

私たちはこの島国でガラパゴス的に進化してきた「日本人というコンテンツ」

そう、アレです。

そう、ソレです。

やっと気づきましたか？

それを売るので。

そのビジネスモデルを後2年で作れるのか？

当然、販売方法はインターネットです。

「インターネットで日本人というコンテンツを売る」

これが好むと好まざるとに関わらず、私たちが歩むべき方向なのです。

## 東方からの賢者・ワイズマン



### ■補足

このレポートは今井秀明君のメルマガで紹介されたものです。

彼のメルマガに登録しておきますと、この“東方からの賢者”の正体や実例等が明かされるみたいです。

<http://digital-work.co.jp/site/mail>

今井秀明君とは(苦労人のナイスガイです！)

<http://tenchi-souzou.com/prof.pdf>

東方からの賢者・ワイズマンの実績等(これはしまだくんが紹介してくれてたね、ありがとう)

<http://tenchi-souzou.com/imai/sensei.pdf>